



瑞浪恵那道路



可児御嵩バイパス

平成30年度
【道路事業概要】

TAJIMI

みずなみえな
瑞浪恵那道路



国道19号瑞浪恵那道路は、瑞浪市と恵那市を結ぶ延長12.5kmの区間で、渋滞・事故等の交通課題の解消や、リニア中央新幹線の開業(平成39年予定)の地域振興に寄与することを目的に計画された道路です。

平成27年度に瑞浪市土岐町～恵那市武並町までの延長8.2kmが事業化し、平成30年度に恵那市武並町～長島町までの延長4.3kmが事業化しました。

今年度の事業内容

◆改良工、用地買収、測量、用地調査、地質調査、環境調査、道路設計、関係機関協議を実施。



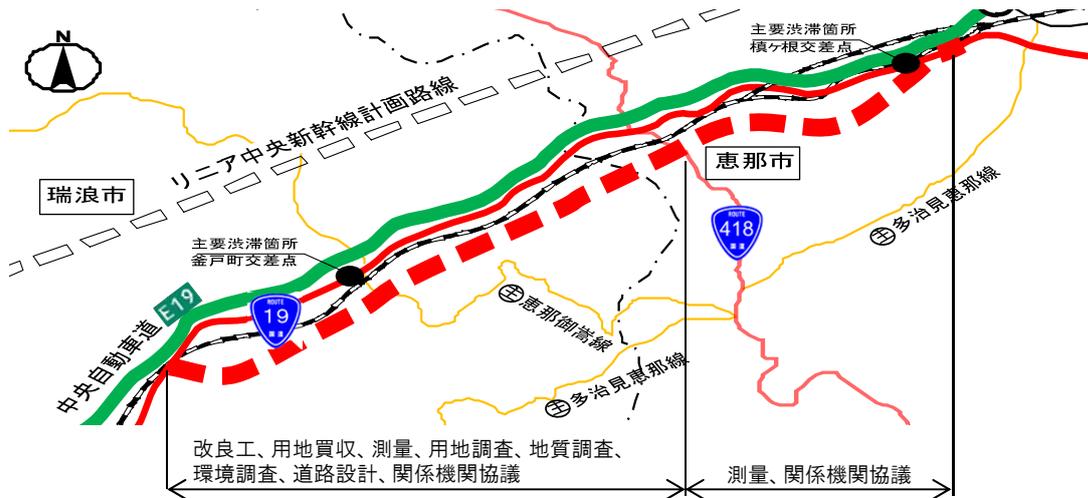
瑞浪恵那道路計画箇所(主要地方道恵那御嵩線交差箇所)

【釜戸町の渋滞】



国道19号釜戸町交差点混雑状況(下り)





瑞浪恩那道路区間における課題

◆物流・生活交通の輻輳による渋滞・事故

- ・通過交通割合は約7割と高く、物流交通などの大型車混入率は、中部管内平均の約2倍
- ・物流交通と生活交通の輻輳により、交通容量を超過し、円滑な幹線物流を阻害(混雑度1.58)
- ・正面衝突事故率は、県内19号平均の約3倍で、隣接区間に比べ、交通事故規制が多発

◆交通需要の増加に伴う観光への影響

- ・東濃地域は、リニア岐阜県駅(仮称)により、首都圏との時間距離が大幅に短縮
- ・地域では、中山道などの歴史ある街道を活かした観光振興など、首都圏から誘客するための取組を進めているが、交通需要の増加に伴う混雑の悪化が懸念

瑞浪恩那道路の期待する整備効果

◆渋滞・事故の改善による生産性向上

- ・瑞浪恩那道路の全線整備により、道路の機能分化を図り、交通容量を確保することで、幹線物流の速達性と生産性を向上(約3割向上)
- ・走行安全性の向上により、重大事故発生を抑制(約8割減少)
- ・災害や事故等、通行止め時の遅れ時間を大幅に減少し、持続的な産業活動を支援

◆時間圏域の拡大による観光支援

- ・リニア岐阜県駅(仮称)からの東西アクセスを強化することで、岐阜県内の観光交流人口の拡大や首都圏から誘客するための取組を支援



国道19号瑞浪恩那道路区間周辺における交通状況

みずなみえな

瑞浪恵那道路 着工式を開催しました



鍬入れ式

平成29年12月3日（日）瑞浪市土岐町地内（鶴城交差点付近）において、地域方々や行政関係者など約170人の出席のもと開催しました。



式典会場風景



「ストック効果」等のパネル展

式典終了後には記念イベントが行われ、地域の皆様と一緒に祝いしました。



合唱「明智中学校」



「バサラ瑞浪」

岐阜19号環境対策



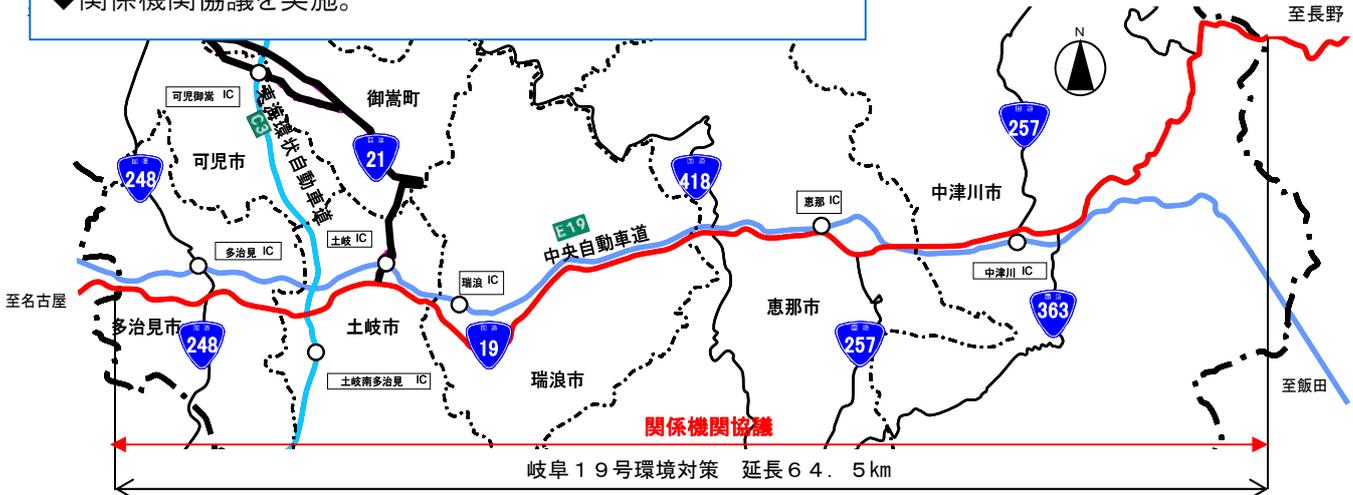
岐阜19号環境対策は、国道19号の多治見市富士見町から中津川市山口において、大型車混入率が高く、騒音レベルが高い区間の沿道環境を保全することを目的とする環境整備事業です。



●騒音対策(低層遮音壁)の実施状況(瑞浪市釜戸町)

今年度の事業内容

◆関係機関協議を実施。



かにみだけ
可児御嵩バイパス

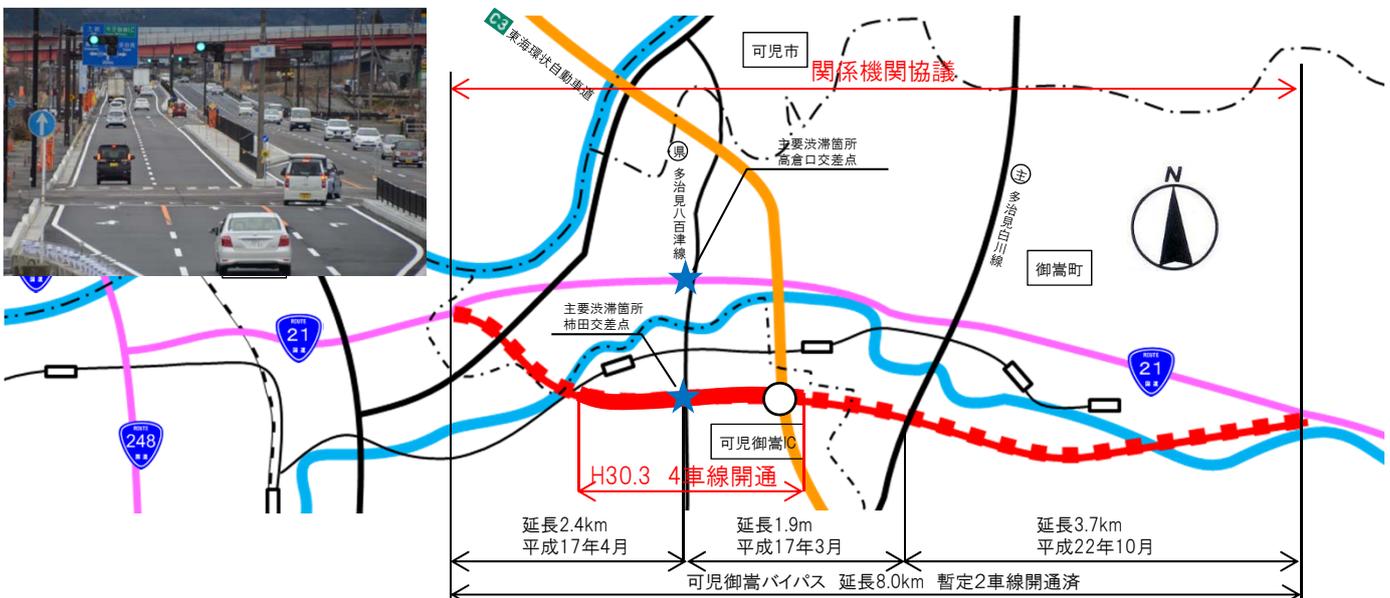


国道21号可児御嵩バイパスは、現道21号の交通混雑の緩和、交通安全の確保とともに、東海環状自動車道可児御嵩ICへのアクセスの確保、ならびに可児御嵩地区の地域開発の支援を目的とする道路です。

平成22年度に全線8.0kmを暫定2車線開通し、平成30年3月に可児御嵩インター付近延長約1.3kmが4車線開通しました。

今年度の事業内容

◆関係機関協議を実施。





かにみたけ

可児御嵩バイパス 一部4車線 開通しました

平成22年度に全線暫定2車線で開通後、4車線化の工事を進めてきました。

この度、平成30年3月16日に可児市内の可児御嵩IC東交差点～瀬田交差点(延長約1.3km)が4車線で開通しました。

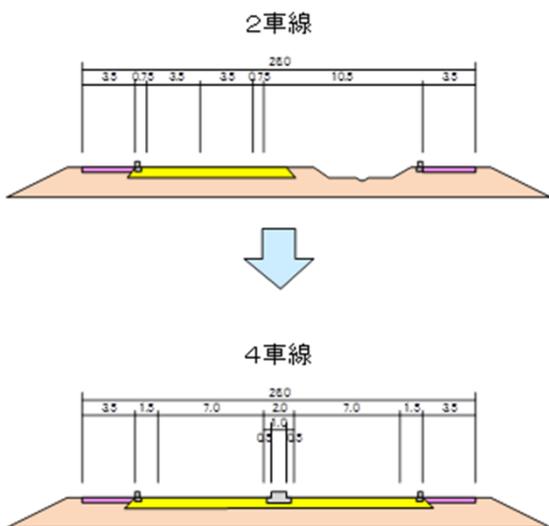
今回の4車線化開通(延長1.3km)により、柿田交差点の渋滞緩和やバイパスの速達性向上が期待されており、周辺工業団地の企業立地の一層の促進や、沿道への新たな施設・店舗の進出など、更なるストック効果の発現が期待されます。



可児御嵩バイパスの4車線化により、柿田～瀬田間の通過がスムーズになり、朝が忙しい私にとっては通勤時間が少し短縮されてとても助かっています。



可児市内へ勤務の方からの声



整備前(渋滞状況)



整備後





維持管理事業



24時間365日、安全・安心に通行できるだけでなく、国土の骨幹となる道路として地震等の災害時にも緊急物資が輸送可能なよう道路管理の事業を実施します。

道路の補修・防災対策

今年度の主な事業内容

- ◆ 橋梁等の道路施設の補修工事、構造物点検等。
- ◆ 自治体職員への橋梁点検講習会。
- ◆ 防災対策工事、道路防災点検等。
- ◆ 国道21号における亜炭坑充填工事。

◆ 道路のメンテナンスの実施

利用者の方々が安心して利用できるように、道路施設の点検から補修、防災対策等のメンテナンスを実施しています。

道路メンテナンス(橋梁の場合)



定期点検(5年毎)



ひび割れの補修前



損傷部の補修完了



補修工事の実施

◆道路橋

わが国の道路構造物は高度成長期に一齐に整備され、建設後50年経過した構造物が今後本格的に補修・更新の時期を迎えようとしています。特に橋梁は、中部地方整備局内でも重大な損傷による交通障害が懸念されています。また、当事務所の建設後50年経過する老朽橋は、10年後には全体の5割強に達します。このため点検、診断、措置、記録のメンテナンスサイクルを確実に推進し、橋梁の保全に努めます。また、地方自治体職員の技術力向上を目指して、橋梁点検の講習会を実施します。

◆防災対策

国道21号御嵩町次月地区において防災対策工事を実施します。また、管内全域の道路防災点検等を実施します。

◆その他の道路施設

トンネル、擁壁、標識、道路照明等の点検及び補修設計・補修工事を実施し保全に努めます。可児市・可児郡御嵩町地内では、戦前～戦後間もなくまで亜炭(質の悪い石炭)が採掘されており、その跡(亜炭坑)が今も残されています。国道21号可児郡御嵩町地区において、地震発生時に陥没のおそれのある亜炭坑に、充填工事の対策を実施することで、地震発生時における被害の軽減を図ります。平成26年度から亜炭坑の状況確認調査、充填工事を実施しており、本年度も引き続き、充填工事を実施します。

防災対策



落石対策(ロープネット)



落石対策(防護柵)

亜炭坑対策



亜炭坑内部の様子



充填状況

削孔状況

亜炭坑充填工事の様子

日常の道路管理 ～ 365日安全に通行できるよう ～

道路維持管理基準(案)及び道路維持管理方針(案)に基づく効率的・効果的な点検・道路施設の損傷部等の維持補修、冬期の雪氷作業の実施により安全・安心な通行を確保します。

今年度の主な事業内容

◆道路施設の点検・損傷部等の補修・日常的な維持作業(除雪を含む)を実施。



道路施設の点検



道路損傷部の補修



道路巡回による作業



特車の取締り



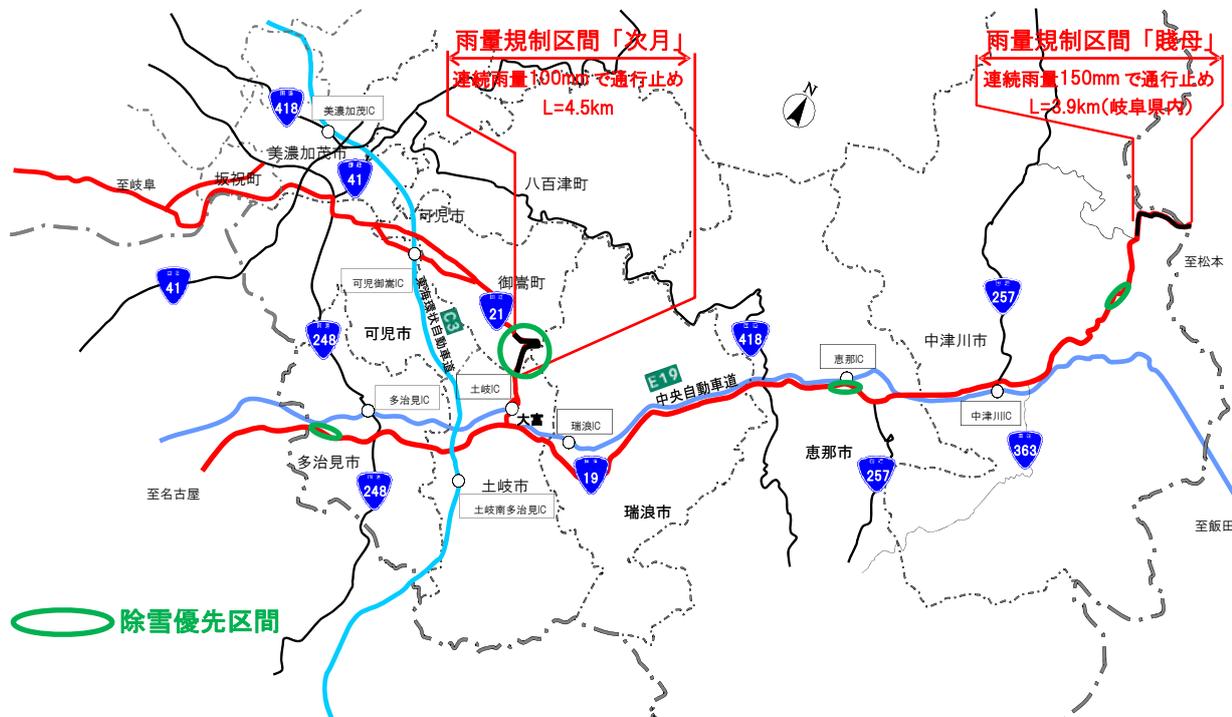
除草作業



冬期道路の雪氷作業

緊急時の道路管理 ～ 緊急時に備えて ～

大雨(大雪)・地震時等の異常気象や災害発生時に早急な初動体制を整え危機対策を実施し道路利用者の安全を第一に交通の確保に努めます。また災害に備えた訓練を実施し、災害時の迅速な対応に努めます。



地域との協働 ～ 地域と一体になって取り組む ～

各種ボランティア団体と協働での沿道美化活動、アカウントビリティの一環としての現場見学会の開催など、沿線地域と一体となった道路管理を実施しています。

道路ふれあい月間



東濃・木曽防災対策協議会との道路清掃活動 (H28. 8)



建設機械体験会実施 (H29. 8)

ボランティアサポートプログラム



多治見市



土岐市



瑞浪市



中津川市

乙姫大橋(中津川市) 直轄診断 ～地方公共団体への技術支援～

乙姫大橋は、岐阜県中津川市に平成8年に建設され、現在まで22年経過した市道坂下98号線上の橋梁で、観光や日々の生活を支える地域の主要な路線として重要な役割を担っています。市が実施した点検において、橋梁に使用されている耐候性鋼材に異状が確認され、診断には高度な技術力が必要と判断されたため、岐阜県道路メンテナンス会議を通じて、国土交通省に直轄診断の要請がされました。要請を受け、国土交通省は、「道路メンテナンス技術集団」を派遣して技術支援を行い、技術的助言を取りまとめて市に報告しました。



乙姫大橋（橋長316.9m）



市長へ直轄診断の結果を報告

● 耐候性鋼材を用いた大規模なトラス橋 ●

【損傷状況】



層状剥離を伴う異状な腐食を確認



市長への状況説明
(橋梁点検車にて)



技術集団による現地調査

交通安全事業として、交通事故対策を重点に、歩道空間の整備、交差点改良、交通安全施設等の整備を行い、安全で快適な道路空間の確保を行います。

交通事故対策 ～ 交通死亡事故件数の削減に向けて ～

今年度の主な事業内容

- ◆用地の取得及び工事を実施。

歩道整備



【釜戸町歩道整備(瑞浪市)】

当該地区は、大型車が多く走る地区にもかかわらず、歩道が整備されておらず、歩行者が安全に通行することができない状態となっています。今年度は、歩道整備に必要な設計および用地買収を進めていきます。

交差点改良



【恵那大橋西交差点改良(恵那市)】

当該交差点は、右折待ち車両から対向の直進車両へ対する視認性が悪いため、右折直進事故や急減速に起因する追突事故が発生しています。今年度は安全性向上のために交差点改良工事を進めていきます。

対策事例

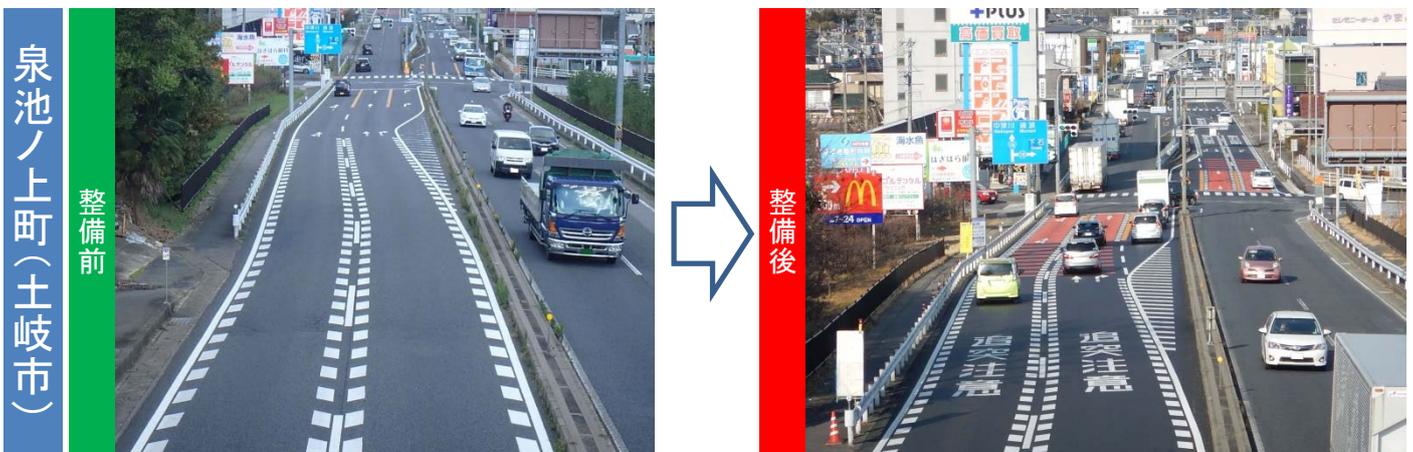
歩道整備

安全そして安心して歩ける歩道整備のため、歩道中抜け区間の解消を目指し事業を推進しています。



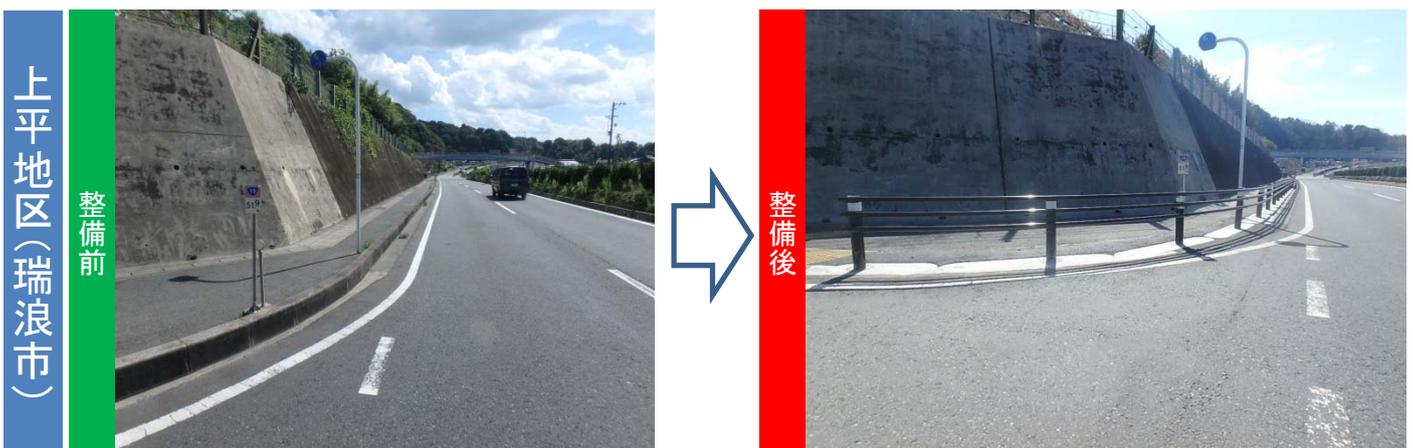
交差点改良

カラー舗装や路面標示などによる注意喚起標示を設置し、安全性を向上させています。



交通安全施設

通学路において防護柵を設置し、安全性を向上させています。



土岐市土岐ヶ丘付近における渋滞対策(官民連携による取り組み)

○ 近年、大型連休時に、**国道19号神明交差点**など、土岐アウトレット周辺道路において、**来場者の交通集中による著しい渋滞**が発生
 (土岐プレミアムアウトレットの年間入込客数： 410万人 (H17) ⇒ 730万人 (H27) 【約1.8倍】)

- 平成27年に、**立地者、道路管理者、警察**による検討会議を設置し、**PDCAによる対策検討**に着手
- 対策は、各機関の所掌の範囲内で連携・協力しながら、取組を推進

○ **立地者の主体的な協力**による渋滞対策の実施

- ・現地誘導の交通整理員の配置、誘導看板の製作・設置は**全て立地者側で実施**
- ・**立地者で保有**している従業員駐車場を開放

渋滞対策検討会議によるPDCA

土岐プレミアム・アウトレット テラスゲート土岐
 中日本高速道路(株) 岐阜県 多治見警察署 土岐市
 国土省多治見砂防国道事務所(事務局)

PLAN:計画

ACTION:改善

渋滞対策の改善・充実【協議会】

DO:実行

- ・広報活動【全構成員】
- ・現地誘導(迂回看板・誘導員配置)【土岐プレミアムアウトレット】
- ・駐車容量拡大(増設・従業員P開放)【土岐プレミアムアウトレット/テラスゲート土岐】

CHECK:評価

実態調査・効果検証
 【土岐プレミアムアウトレット/中日本高速道路(株)/国】

写真①



写真②



写真③



H30年始実績：誘導看板 22基、誘導員 延べ62人/3日

従業員駐車場 (約2200台分) を開放

土岐市土岐ヶ丘付近における渋滞対策(広報戦略)

○来場者の経路分散・時間分散とリアルタイム道路情報(ライブカメラ・道路交通情報)の確認など、来場者の行動変化(経路分散・時間分散)を促す広報資料を作成・配布

⇒チラシ「渋滞対策を避ける裏ワザ」【全構成員】

○各構成員の関連施設での広報活動
岐阜県内の高速道路SA/PA【NEXCO】や道の駅【県・市】、観光施設【市】、JR多治見駅・土岐駅など、主要な施設にチラシ・ポスターを配備

⇒ポスター・チラシの掲示・配布(全46箇所)

○各機関が提供する既存のラジオ番組枠を活用

⇒ZIP-FMやFMPIPiで全9回放送【アウトレット・市】

チラシ・ポスター・ラジオ



土岐プレミアム・アウトレットでの宣伝活動

○各構成員の代表者らによるアウトレットでの宣伝活動を実施【全構成員】

○親しみのあるゆるキャラも応援参加【県・市】



マスコミ報道



ニュース放映(おりべネットワーク)

みさか
(仮称)神坂スマートICの連結許可

- 平成29年8月4日（金）国土交通大臣より、中央自動車道西宮線と中津川市道神坂44号線および45号線との連結が許可されました。
- これを受け、8月17日（木）、多治見砂防国道事務所において、事務所長から中津川市長へ「(仮称)神坂スマートインターチェンジ連結許可書」の伝達を行いました。

開催概要

- ◆ 日時：平成29年8月17日（木）9時30分～
- ◆ 場所：国土交通省中部地方整備局
多治見砂防国道事務所
- ◆ 出席者：中津川市長、神坂区長会長



中津川市長挨拶

・リニアを見据えた飛騨地域、木曽地域などへの広域観光の交通拠点になり、第三次救急医療施設への搬送時間短縮、更には恵那山トンネルの有事における迅速な対応など安全安心面が向上すると考えています。

・スマートインターチェンジの整備効果を発揮するため、事業主体となる中津川市と中日本高速道路株式会社が連携をとり、早期着手・完成を目指し事業を進めていきます。

神坂区長会長挨拶

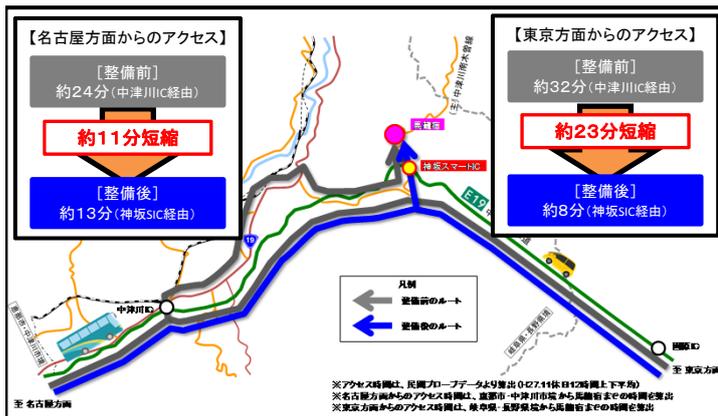
・平成5年から要望をしていたこの神坂スマートインターチェンジが事業化し、連結許可されたことは、地域としても大変喜ばしい。

・神坂地域の観光振興になりつつ、このスマートインターチェンジが一日でも早く完成するよう事業を着実に進めて頂きたい。

- 神坂スマートインターチェンジが整備されることで、中央自動車道からのアクセス向上による観光活性化や、災害時における代替ルートの確保など、様々な効果を期待。

期待される整備効果 1：「馬籠宿」へのアクセス性向上

「馬籠宿」へのアクセス時間は、名古屋方面から11分、東京方面から23分短縮し、**観光客の利便性が向上**



期待される整備効果 2：災害時における代替ルートの確保

国道19号などの雨量通行規制区間の代替路として、**災害時における新たな代替ルートを確保**



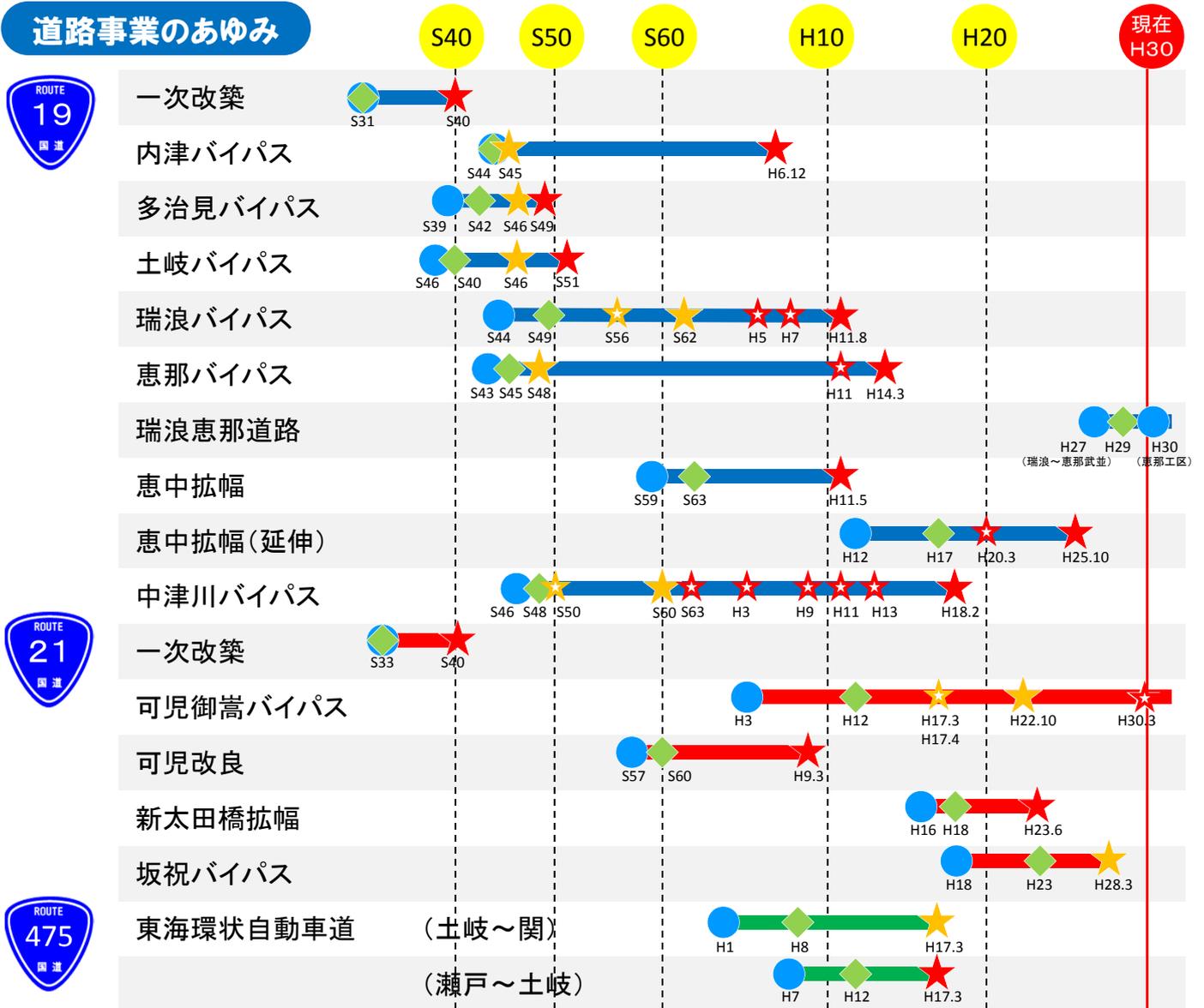


主な事業実施箇所別事業費

単位:百万円

工種	路線名	市町村名	事業名	事業費
改築	19	多治見市～中津川市	岐阜19号環境対策	10
改築	19	瑞浪市～恵那市	瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)	860
改築	19	恵那市	瑞浪恵那道路(恵那工区)	50
改築	21	御嵩町～可児市	可児御嵩バイパス	10
交通安全	19	多治見市	音羽町交差点改良	9
交通安全	19	瑞浪市	釜戸町歩道整備	27
交通安全	19	恵那市	恵那大橋西交差点改良	36
交通安全	19	多治見市	富士見地区交差点改良	15
交通安全	19	中津川市	山口下山歩道整備	9

道路事業のあゆみ



● 事業着手 ◆ 工事着手 ☆ 暫定部分開通 ★ 暫定開通 ★ 完成部分開通 ★ 完成開通



【改築事業】
瑞浪恵那道路

【改築事業】
可児御嵩バイパス

おもて

【維持管理事業】
橋梁点検

【維持管理事業】
防災対策

【交通安全事業】
交差点改良

【維持管理事業】
道路ノボール

【維持管理事業】
ボランティアサポート

【交通安全事業】
歩道整備

うら

SABOKOUDO

平成30年4月